



外観



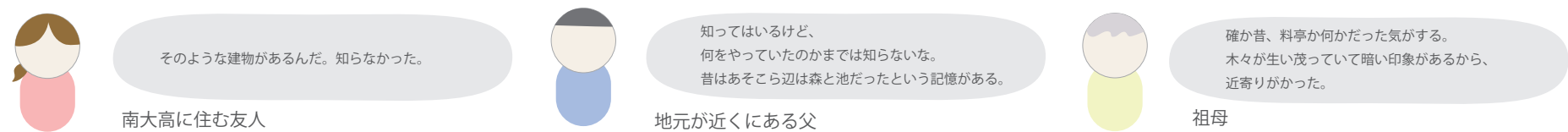
1F カフェ

時をたゆたう白雲閣

椋山女学園大学 新田 陽梨 坂野 碧

○ヒアリング調査

地元からも近い距離にあり、幼いころはよく大高のイオンモールや隣のグランドボールに出向いていた私たち。よく知る土地にある、その周辺とはまた異なる雰囲気や漂わせる建物があると感じていた。建物がそこにあることは知っていたが、白雲閣という名称があり白川郷から移築された建物とはこれまで知らなかった。そこで、私たちの周りの人からヒアリングをすることで白雲閣がどれだけ知られているのか、またどんな印象を持っているのかを調査した。



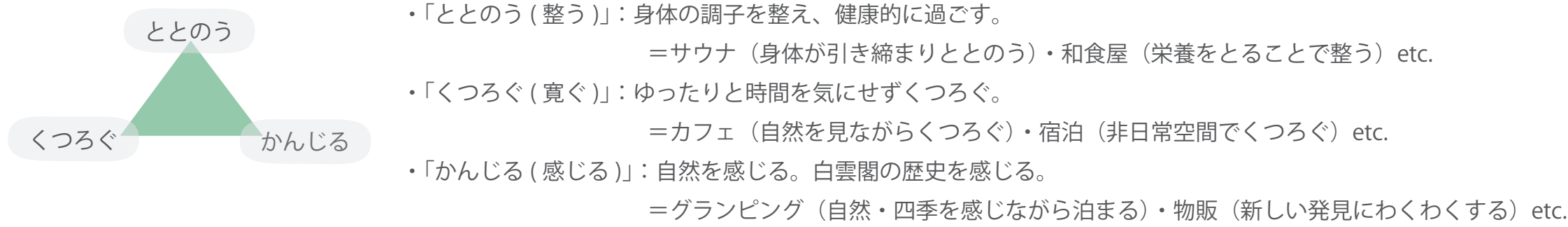
思いのほか、地元の人にも知られておらず、どのような建物かを知る人はあまりいないように感じた。そして、知っているが近寄りたというイメージを持っているということもわかった。この印象を変え、誰でも来やすい空間を提案する。また、南大高に何がほしいか、どんな印象を持っているかのヒアリングもした。



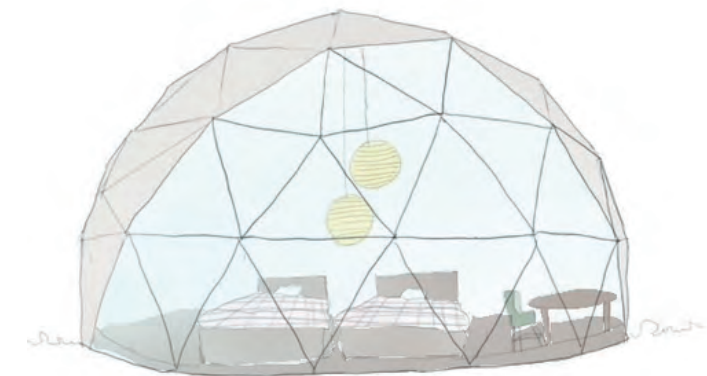
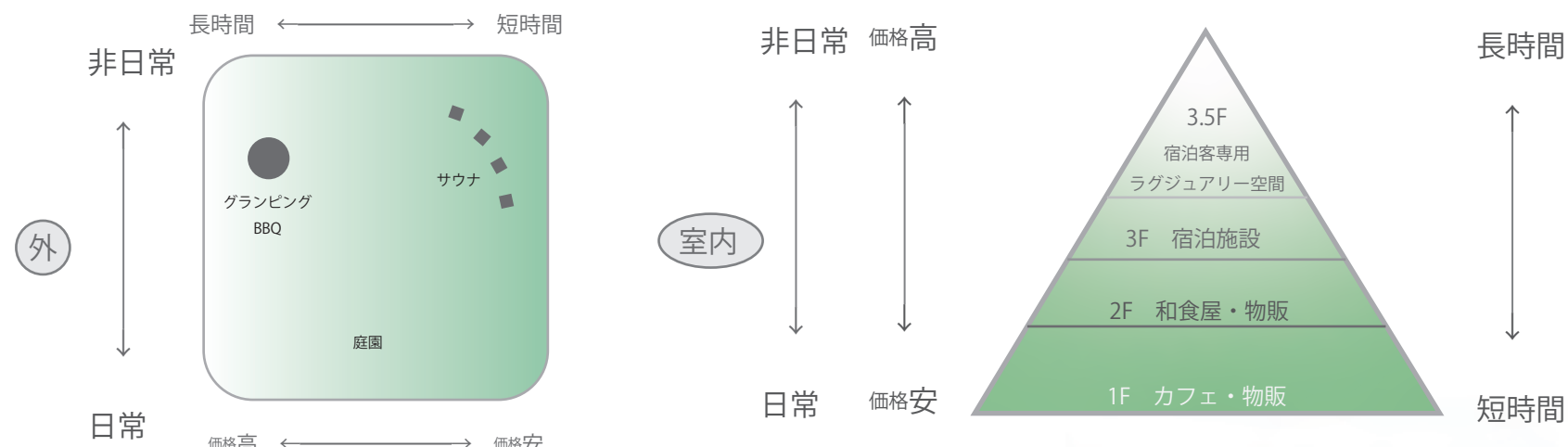
○ターゲット：地元の人たち、名古屋に観光に訪れた人たち を対象に考える。
観光客だけでなく地元の人たちに白雲閣の良さを享受してほしいという思いからこのように設定。

○コンセプト・ダイアグラム

ヒアリング調査から、「明るく誰でも立ち寄りやすい場所に」「自然に触れながら穏やかにゆったりと過ごせる空間にする」「周りにはないものをつくる」ということを重視しようと考えた。そこで、三つのキーワードを設定しそれに合わせた空間の提案をする。



このような要素とともに、日常と非日常がグラデーションになるような構成した。



○1階：
誰でも気軽に【くつろぎに来ることができる】空間

木造を生かした開放的な空間で、暗く近寄りたという印象を無くす。

・受付
ここではサウナ・3Fの宿泊・グランピングの予約ができる。
また、和食屋の個室予約などもしている。
サウナハット・タオルの貸し出し、購入ができる。
事務の場所もあり、作業できるスペースを確保。

・シャワールーム
サウナを利用した人や汗を流してすっきりしたい人などが利用できる。サウナから直行できるように配置した。
3室用意することで混雑を避ける。
また、サウナ利用者だけでなく、周りを走っている人や歩いている人にも利用していただける。
(南大高付近は走っている人・歩いている人が多いという理由から)

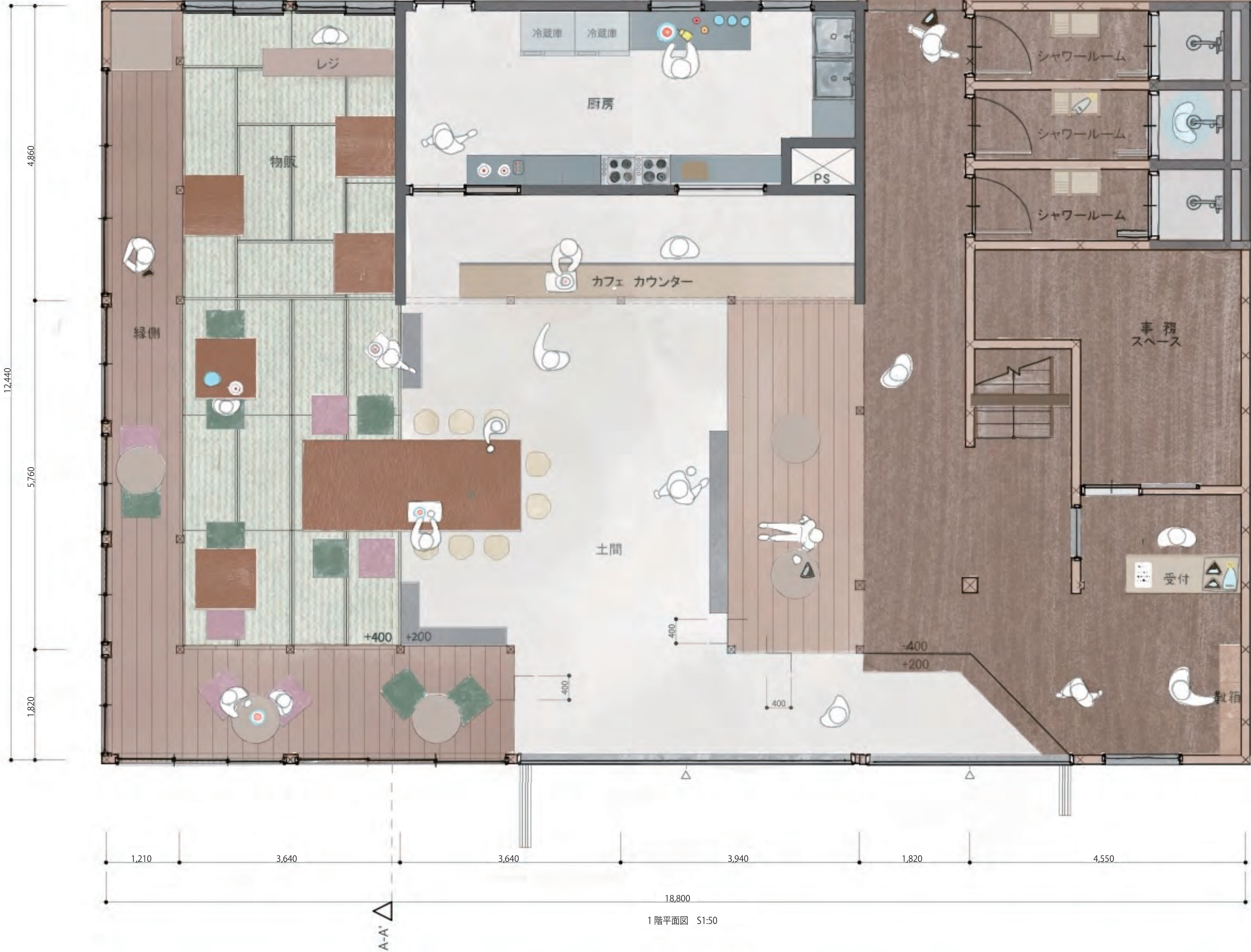
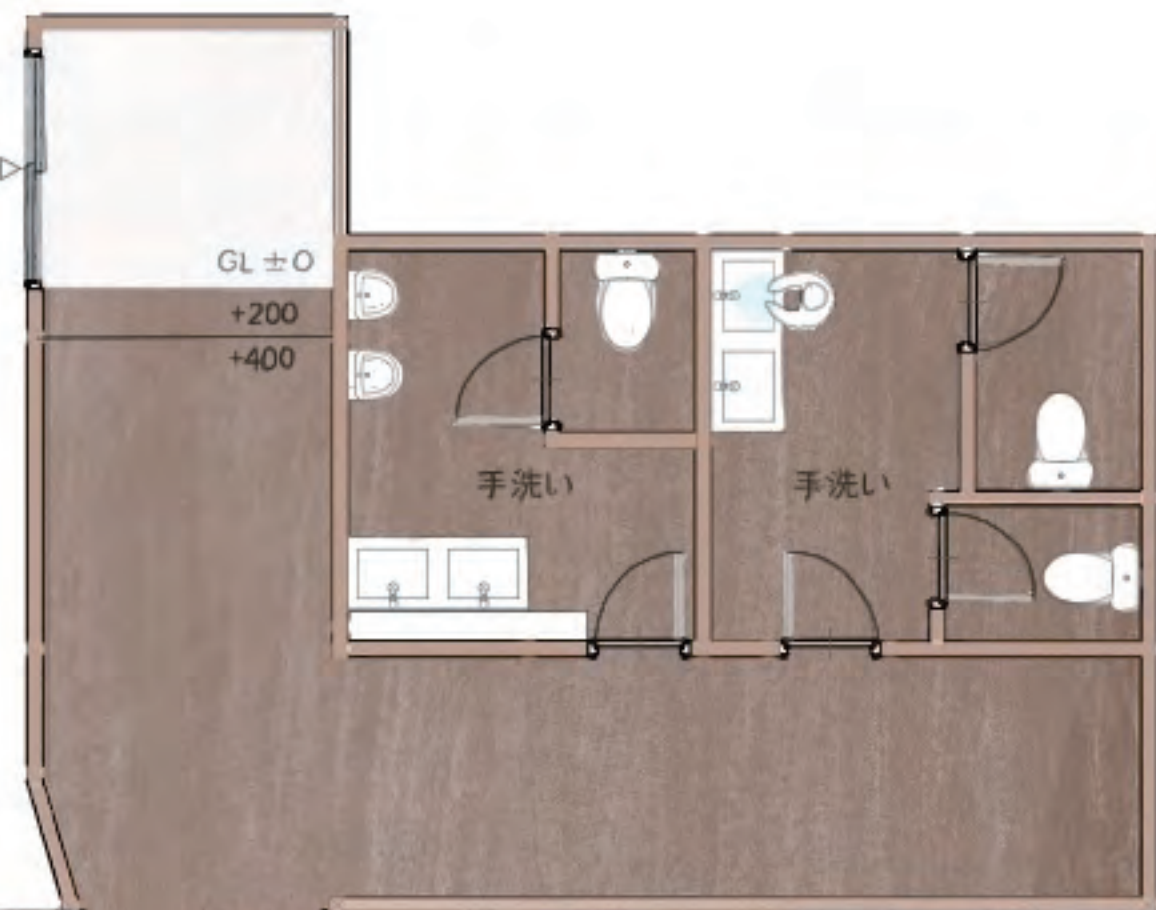
・カフェ
主にパンや、スイーツ、ドリンクなど手軽に購入し、食べることのできる軽食を販売する。
地域の人や観光で訪れた人へ安らぎを与える心地良い居場所。
土間と畳に高低差をつけることでメリハリをつけつつ、板一枚のテーブルを中心に設置することで空間につながりをもたせた。
縁側にある席は外の自然を楽しみながらお茶をすることができる。
厨房部分は、鉄骨で囲うことで現代的で無機質な空間になっている。
周りの商業施設では味わうことができない、趣深い和を感じゆったりと時間を忘れて過ごすことができる。

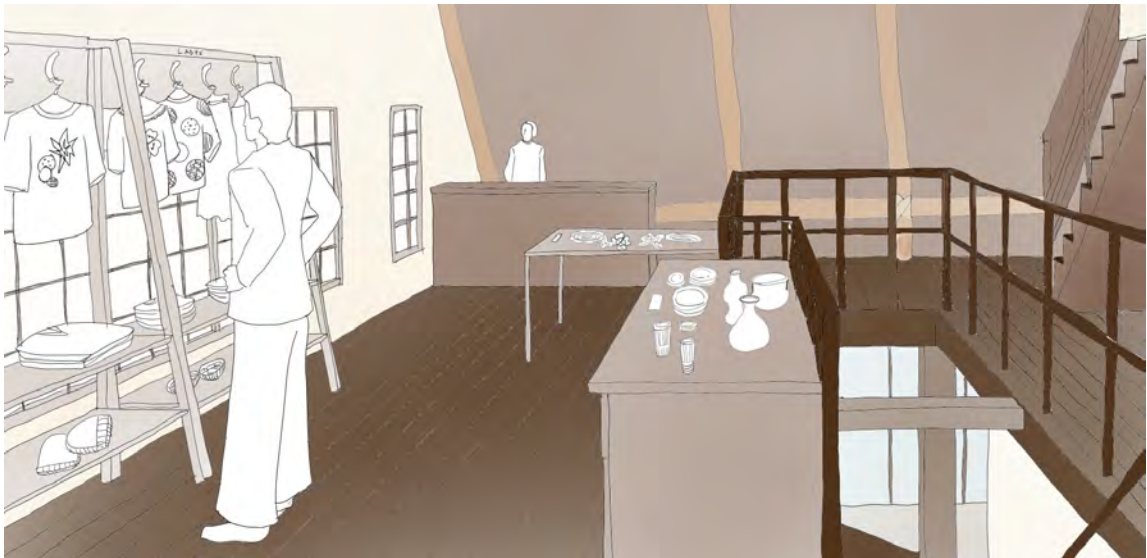
・物販
雑貨やお花など手に取りやすい小物類が売られる。
このスペースはレンタルすることができるようにすることで周りの商業施設では買うことのできない、ここだけの出会いと発見がある。
畳と縁側を活用し、カフェとの繋がりをすることでふらっと気軽に立ち寄れる。

ももとの白雲閣の良さである「和」の要素を残しつつ、現代的な要素をプラスすることで昔の素晴らしいさを忘れることなく、そして未来を生き、引き継いでいく。

○グランピング
1日1組限定。
名古屋に在るということと忘れてしまうような贅沢な体験。
池を眺めて過ごし、時よりサウナで体を整え、施設のすぐ近くにある BBQ テラスで食事をする。
サウナ・キャンプ・BBQ・グランピングなどアウトドアな趣味がある人にもってこいな宿泊施設。

ももともとの自然を景色として生かす。





○2階： 少し贅沢をしたいときのご褒美空間

・物販・展示
階段上がってすぐのところにレンタルできる物販スペースを設けた。
1Fの物販は小物類を売り、2Fのこの物販では洋服・ブランケット・陶器など物が大きく、値段的にもお高めになったものを売る。
また、展示するスペースにすることができることから、地域の人の作品や遠くからの芸術品を鑑賞できる場所としても活用できる。
じっくり落ち着いた空間で見ることができる。



・和食屋
階段を上った開けた空間では、もともとの広間を食事処とし、和食の御膳を提供。
松・竹・梅とコースを選べる日々の生活の中でのご褒美ご飯を提供。
宿泊客・予約客用の個室空間と一般席の空間の2つの空間を作った。
天井高の低いことから日本の伝統的な建物の味わいを感じられる。

2Fまでは誰でも立ち寄れる場所だが、3Fから上は宿泊客のみ使用できる特別感が増す場所。
何があるのだろう、宿泊したらどんな楽しみがあるのだろうと気になってしまうという心を揺さぶるわくわくを感じさせる。



○3階：
心と身体の休息と非日常を味わう空間

宿泊客専用ゾーンとする。
1泊2組まで宿泊することが可能であり、ラグジュアリーな空間となっている。
寝室の間には「緑と石庭」を取り入れ、視覚的に遮ることに加え、和を感じ心休まる時間を提供。
「緑と石庭」を見ることができる窓は足元に配置することで向かいの宿泊客の視線を気にすることなく、日本の庭の良さを身近に感じることができる。

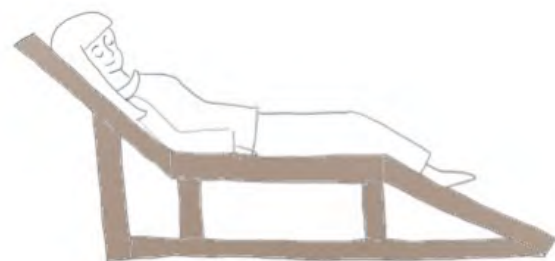
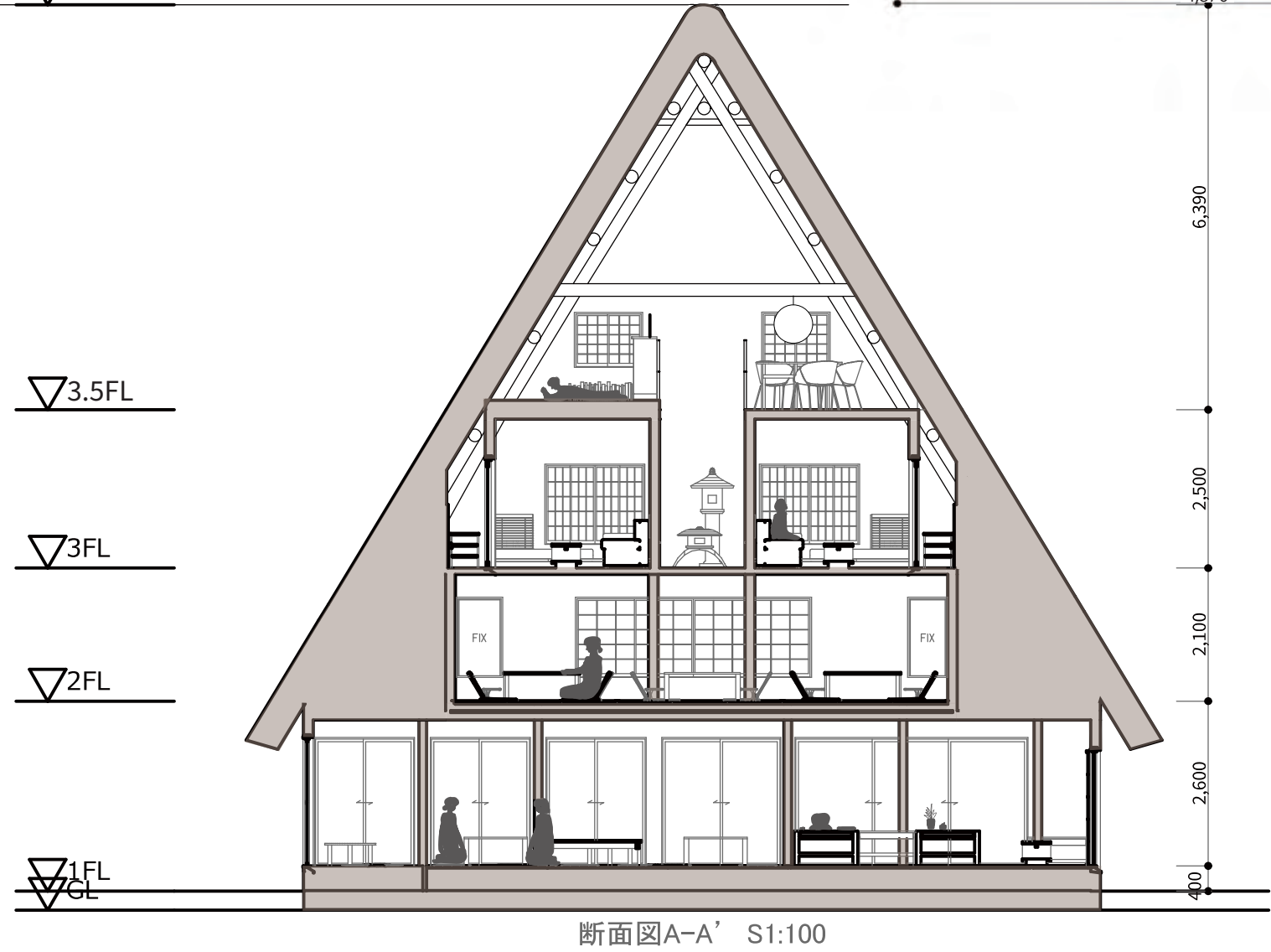
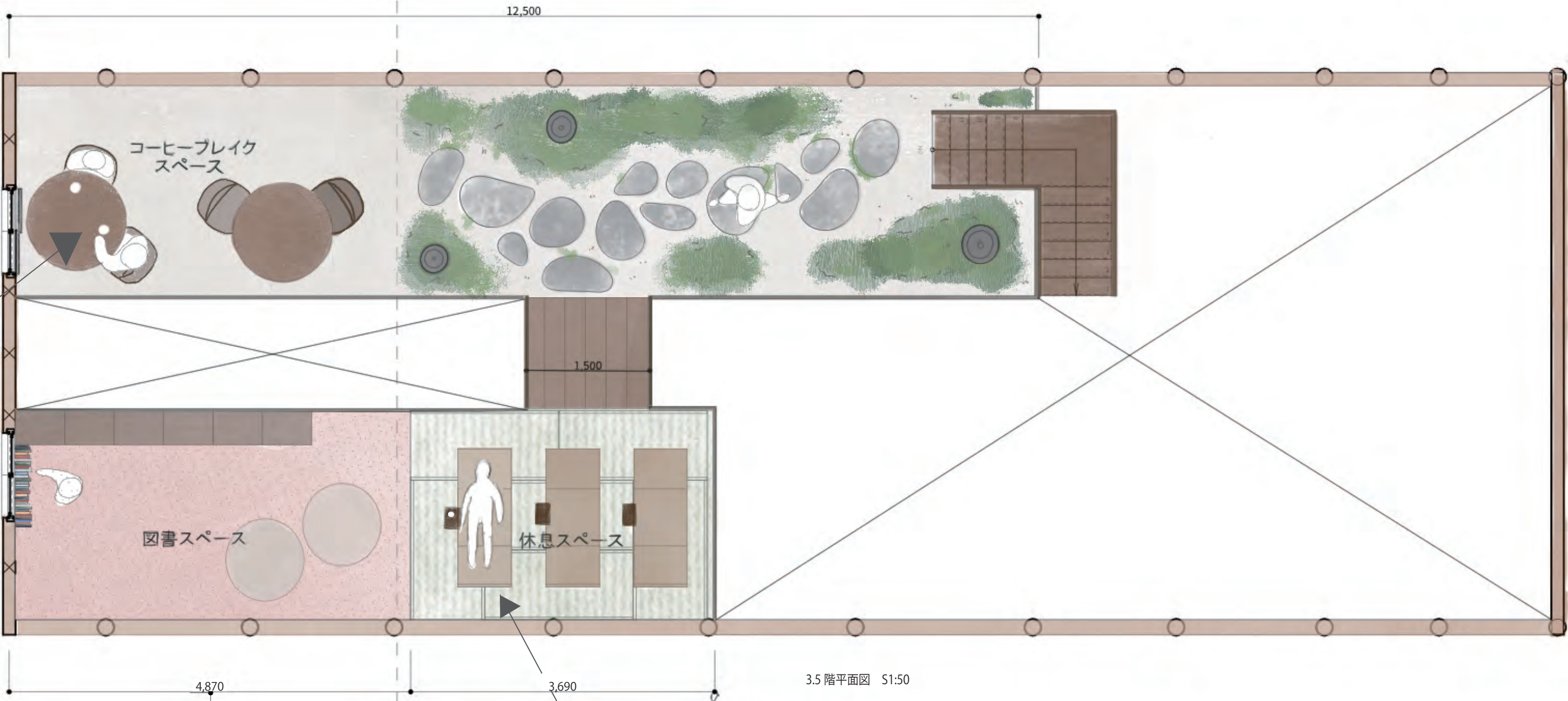
トイレ、シャワールーム、ラウンジは宿泊客共用。

○3.5階：
建物の歴史を堪能できる特別なラグジュアリー空間

3階宿泊者専用の隠れ家のような空間。
コーヒーブレイクや図書、休息のスペースを設けることでより質の高い宿泊体験を提供。
本を読んだり、コーヒー・お茶を嗜んだり、寝転がりながら休息をとったり…時間がゆったりと流れていく。
白雲閣でしか味わえない、大きな屋根の下での休息。
贅沢に日本の木造建築を堪能できる。



▽最高高さ



屋根を見ながら寝転がることできる

3.5F入ってすぐのところは3Fの中庭と同じような構成にし、飛び石を渡ってコーヒーブレイクスペースや休息スペースに行くことができる。わくわくした気持ちで歩みを進め、日本らしい庭の良さを感じられる。
ここでしか味わえないようなラグジュアリーな空間で自分らしく過ごすことができる。

○白雲閣にしかない食べ物・グッズ

帰りにお土産として買える、おすすめグッズ！

白雲閣の名物としてカフェに映えスイーツを提案！

ここだけという特別感と白雲閣に来たことが一目見て感じられるような企画があると集客率が上がるのではないかと考えた。

